

子供向け景観まちづくり講座の資料について

将来の景観まちづくりを担う子供達を対象に、景観への興味や意識、まちへの愛着心の醸成を図ることを目的とした、講座用の資料を作成する。

1. 対象：小学校低学年
2. 活用シーン：(仮称) 染井地区まちあるき学校（平成31年度実施予定）
3. 内容
地域の資源の掘り起しや再発見を行うまち歩きとクイズ等
4. 構成（案）：150分

講義	15分
まち歩き	75分
まとめ（クイズ等）	60分

5. 講義内容

(1) 第13回デザイン検討部会での指摘事項（抜粋）

- ・子供達に景観の話は難しい。
- ・身近なところからのアプローチが必要。
- ・景観の見方を養う方向がよい。（見通すものに面白いものがある。）

(2) 結論

- ・駒込・巣鴨案内人（地域ボランティア団体）によるまち歩きを中心とし、景観の要素を加味する。

(3) 内容

○始め

- ・会場の窓から外を見てまちには様々なもの（公園、道路、建物等）があることを確認する。
- ・まち歩きの課題を出す。
 - ① ソメイヨシノ桜は何故ソメイという名前がついているのか。
 - ② 大國神社はお参りすると〇〇すると言われているがその〇〇とは何か。
 - ③ いいと思った場所の絵を書きその理由を発表する。

○まち歩き

- ・案内人によるまち歩き。古地図を活用。

○終わり

- ・いいと思った場所の絵を書き、その理由を合わせて発表。課題の回答。保護者の感想を交える。
- ・自分でもできる景観まちづくり（植木、ゴミ拾い）の説明。